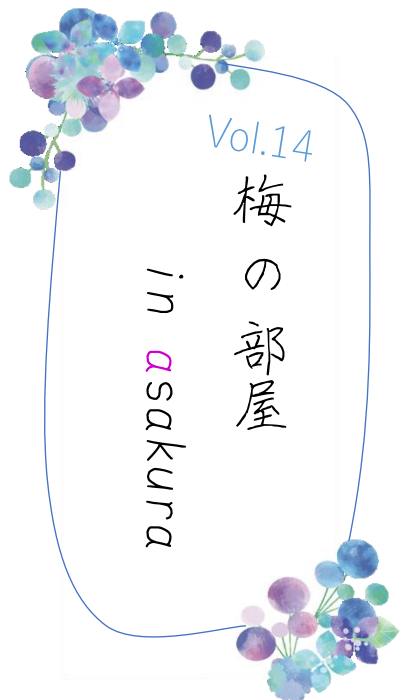




Vol.14

梅の部屋

in asakura

新しい発見

こんにちは。

早いもので一年も半分終わってしまいましたね。子どもの頃はもっと長く感じていたのですが、年を重ねるにつれてどんどん早くなっています。

一応この現象、心理学的に名前があるようで。「ジャネーの法則」と言うそうです。皆さんご存知でしたか？私は知りませんでした。

それ以外に、子どもの時は日々新しい発見や出会いが溢れてるのに反して、大人になると色々なものに慣れてしまつて日々新鮮味がなくなるから、なんて考え方もあるそうです。

最近の私の新しい発見としては、プリンを作ったことがある方はわかるかもしれませんが、プリンを固める際温めすぎると気泡ができてしまいポコポコと穴が空いてしまふんです。この気泡のことを「す」と呼ぶんですが、それを私知らなくて。調べたら「す」と出てくるので、『お酢なんて入れてないのに何で「す」？酸っぱくなるの？』なんて疑問符を飛ばしてました。（残念ながら「す」だけのプリンができてしまいました…。）

こんなふうにとした「なんでだろう？」という疑問を持って、日々を過ごしてみると意外と新しい発見や出会いがたくさんあったりするかもしれません。



筋トレは地味に続いています。

うめ

久々の…。

コロナの影響でなかなか活動ができていなかった朝倉グリーンツーリズム協議会ですが、嬉しいことに夏ごろに色々と予定が入ってきました！今までほとんどの活動が中止になってたので、本当に嬉しい！

ただ、コロナ次第では中止になる可能性も…。ですが、少しずつでも活動の目途が立つのは喜ばしい限りです。久々に子ども達と会えるのかと思うと、ワクワクドキドキです。

朝倉での体験が子ども達にとってよいものとなるように、朝倉で体験出来ることなどを考えつつ、現在準備中です。

まだ具体的にはご報告できませんが、確定次第お知らせできればなあと、思っていますので楽しみにしてください！

では、今回はここまで。

また次回！！





受入れ家庭大募集

農村体験・農村民泊の受入れ家庭を募集しています！！

朝倉グリーンツーリズム協議会では、都会の子ども達や住民の方々に「朝倉での暮らしや人との触れ合い」を通して「あさくら」の魅力を伝え、地域の活性化に繋がるよう活動をしています。

現在は国内の小学校、中学校、高校の教育旅行や体験の受け入れを積極的に行っています。近年では「日本の生活や文化を学びたい」ということで海外の学生さんや個人でいらっしゃる方も増えており、国際交流の場にもなっています。

そんな活動をしている協議会ですが、現在の受入れ家庭軒数では対応しきれない場合もあり、朝倉に來たいと言ってくれる方々をお断りしているケースも多々あります。

そこで、朝倉グリーンツーリズム協議会では農業体験や農村民泊を受け入れていただける家庭を随時募集しています。

是非、受け入れを通して「あさくら」の魅力を一緒に発信していきませんか？



受け入れに関してよくある質問

Q 農家じゃないけどいいの？

A 農家でなくても問題ありません！普段と違う生活を送ることが立派な体験となります。家で農業体験ができない場合は、近隣の受入れ家庭との連携等を協議会で調整させていただきますので、ご相談ください！

Q 料理はどうすればいいの？

A 特別な料理ではなく普段食べている料理を子ども達と一緒に作って食べてあげてください。食事も立派な体験活動の一つになります！アレルギーを持つ生徒がいる場合は、事前に事務局より連絡を行い対応します。

Q ボランティアなの？

A 受け入れて頂いた場合は、受入れ家庭に謝礼をお支払いします。

【例】中学生3名を受け入れた場合（一泊二日二食・半日農業体験付）

5,400×3人＝16,200円

※食材や寝具等は受入れ家庭でご準備ください。

Q 一回に何人受け入れて何泊ぐらい受け入れるの？

A 一軒の受け入れは3～5人位を予定しています。が、事前にご相談させて頂きます。教育旅行などの受け入れで多いのは一泊となっています。

問い合わせ先

農村体験・農村民泊に少しでも興味をお持ちの方は、是非ご連絡ください！

電話・・・0946・24・6758